



## 富士山 故緒方俊治会員追悼登山 報告 第 165 回例会登山

◇期日 2013 年 8 月 30 日(金)～9 月 1 日(日)

◇参加者

☆ご家族、ご親戚： 緒方順子(ご令室) 緒方達民(ご長男) 緒方伸章(ご次男) 緒方恵造(ご令弟)  
湯川定則 英子(義兄ご夫妻)

☆山岳会： 岡市敏治 岡市芳子 小谷辰雄 有馬誠 鶴谷将俊 河本卓生 八田義一 井上達男  
和光広典 居谷千春 酒井利直 山田健 中川勝八郎 坂本淳 大竹口誠治 小林功

☆友人： 石原敏雄 (大阪大学山岳部 OB)

◇行動概要

☆2013 年 8 月 30 日 晴れ

13:00 富士吉田・富士山駅集合

馬返しから入山する組とスバルライン経由 5 合目から入山する組に分かれて出発

スバルライン経由組の緒方家 5 名と小谷、和光は、北麓駐車場に車を止め、富士山駅から乗車の後発の大竹口、坂本淳と合流し、5 合目バス停に 15:45 に着く。

トイレを済ませ 16:00 出発し、16:30 佐藤小屋に到着する。

16:00 佐藤小屋集合

18:00—19:00 追悼会 開催

\*会長挨拶

\*緒方家から佐藤小屋に寄贈したラップトップ PC とプロジェクターを使って緒方のメモリアルスライドショーを開催する。

①第 164 回例会『富士山遺品捜索山行』(6/14～16)の報告を行い、  
滑落の場所、コースを確認する。

②夕食の豆乳鍋を食べながら、追悼式(2/16)で披露したメモリアル映像 5 本を放映する

③緒方会員が残したアルバム、スライド写真からセレクトした思い出集(生い立ち、山岳部、山岳会)のスライドショーを放映する。

佐藤小屋付近は小雨降る

☆2013 年 8 月 31 日 晴れ、風強し

6:00 三々五々佐藤小屋を出発

九州西海上で温帯低気圧に勢力が衰えた台風の影響で晴天なれど強風の日

\*緒方家サポート組は、長男を除く緒方家 5 名と山田、和光で、6:07 出発。

6 合目手前から姉のペースが落ち始め、7:30、7 合目までのジグザグ道の間回り  
で姉と和光を残し、山田と 4 名は太子館を目指す。

姉と和光は、8:20、7 合目花小屋に着く。9 時を待って赤い鳥居の上に向かって合掌し、

下山を始める。途中、6 合目で腹具合が悪くなくリタイアしていた小谷と共に 10:30 佐藤



小屋に着く。

9:00-10:00 太子館階段下 3030m にて追悼式典

\*滑落現場に花、線香に緒方が愛飲したビールと焼酎を供える

\*酒井会員の般若心経読経にて追悼

12:00—16:00 下山

八田、中川、大竹口 小林は登頂後お鉢めぐりをして下山。他は太子館から下山路に入って下山  
鶴谷、河本、岡市夫妻、酒井はさらに麓に下山。他は佐藤小屋にもう一泊。

夕刻に大阪大学山岳部 OB の石原氏が佐藤小屋に入山。

午後から山頂に傘雲がかかる。夕方から小雨

☆2013年9月1日 晴れ、富士山はガスの中

7:30 スバルラインバス下山組と馬返し下山組に分かれて下山する。

\*スバルライン組は、7:30 出発、8:00 合目バス停に着く。

頂上から下山してくるツアー客の集団で林道が混雑している。

お土産を買い、8:30 のバスで北麓駐車場で下車し、浅間神社北口本宮へ9:45 着。

9:50 富士吉田・浅間神社にお参り

10:30-12:00 温泉、食事 散会

◇追悼会挨拶

\*\*\*\*\*

「故緒方俊治岳友追悼会あいさつ」

本日は故緒方俊治会員の追悼登山に多数参加いただき誠にありがとうございます。

こうして彼が先立った富士山の懐にやってきますと、かれと共に過ごした幾多の山々での出来事が思い出されて寂しさが募ります。

昨年暮れの12月1日、無事堤でくれと思いつつ現地へ駆けつけた時の無事さんが美しかったこと。今年の6月、現場にてピッケルとアイゼンを皆で探したが発見できなかったこと。そして三度ここにやってきました。

先般、緒方の遺志を継いで実現すべく、北京の中国登山協会と武漢の中国地質大学を平井一正名誉会員、山田健事務局長と訪問し、2015年の崗日嘎布山群 KG-17 峰の登山許可申請及び中国地質大学との合同登山計画についての可能性を打診してきました。昨今の日中関係の悪化とチベットでの外国人入域禁止措置の影響が加わって、もともと未開放の崗日嘎布山群での登山の可能性は極めて低いと思われませんが、北京も武漢も好意的に新計画を後押ししてくれる感触をつかんできました。

特に武漢では王校長、頼副校長から神戸大学との長年に渡る友好交流の伝統を継続することの意義を高く評価していただき、神戸大学長・福田先生の親書をしっかりと受け止めていただきました。

これから第二次の崗日嘎布山群合同登山計画が具体的に進み始めることを故緒方会員の御霊に報告したく思います。

折しも中国で交渉に臨んでいる頃、8月22日に岳友・坂西俊一氏が逝去されたとのこと、故緒方会員



とはことのほか親交の深かった由、驚きとともに慙愧に耐えません。ふたりは長年佐藤小屋をベースに冬富士に何度も足を運びました。今はあちらで仲良く一献を傾けているのではないかと、少しの慰めを心に抱いています。

追悼登山にご参加の皆様、これを機会に故人の冥福をお祈りするとともに、山での事故を起こさぬよういっそうの努力と研鑽を誓いたいと思います。世界文化遺産に登録されました富士山、緒方俊治君の魂が眠っているここで追悼のひと時をそれぞれの心に刻んでいただければ幸いです。

2013年8月30日

神戸大学山岳会 会長 井上達男

\*\*\*\*\*

◇追悼登山スナップ写真







雲海に朝日 佐藤小屋にて



現場で手を合わすご長男



祭壇



現場に最後に到着した順子夫人  
皆が拍手で迎える



スバルラインからの入山組



佐藤小屋で準備した祭壇



追悼の集いで佐藤小屋へPC・プロジェクターを寄贈